

ほっとステイたてしなに参加して

西塩沢 村田美子

「ほっとステイたてしな」に参加して、今年で6年目になるうとしています。この6年間で300人余りの日帰り、中国・台湾の中学生を四回で18人が一泊しました。まちづくり協議会ユーザーたてしな スタッフの皆さんに、どんな事をしたらよいのか、生徒さんなどの様に接したらよいのか最初は不安ばかりでした。「自分の出来る事で、出来る範囲でやればいい」と言われて始めてみました。学校より事前に、受け入れ家庭に生徒の名前、顔写真、質問事項、訪問メッセージが送られてきました。概ね午前十時前後に指定されたバスの送迎場所まで迎えに行き、今日はどのような生徒なのか、どんな家庭なのか、私も、生徒さん達も不安だったと思います。

最初に、家に受け入れ居間で、手製のアラレ（餅をサイコロ状に切って乾燥し油で揚げ砂糖醤油で味付する）をオリジナル茶菓子としてお茶を飲みながら自己紹介をはじめとし、話が弾みだんだんお互いに気持ち解れて、農家の生活など分からないことを聞いたり、今日は野菜など作付けているのかなど、実際にブルーベリーやトマト・きゅうりなどをもぎ取って食べたり、野菜や果物がどのように育つのか、長野県は果物の南限・北限に位置し多くの種類の果物が栽培されている、味は日本で一番であり、朝採り野菜は何故美味しいのか、果物は収穫時期が来ると何故赤や黄色に色つくのか、スイカは果物屋さんで売っているが本当に果物？それとも野菜？など、子ども達と色々話しているうちに今日初めて会った生徒とは思えないほど気持ちが乗って来て、話題があっつこつちに飛びながらあつという間にお昼になってしまいます。お昼は子ども達が持つてくるお弁当は冷たくなっているので、お味噌汁を出したり、取り立てのキュウリに味噌噌をつけて食べさせたり、トマトを食べていると「美味しい・都会では食べられない味だ、嫌いだっただキュウリやトマトが食べられた」と言ってくれます。私たちが普段は何も感じない程度の事にとっても大きく感動してくれます。田んぼや畑でカエル・トンボ・虫などに驚いたり、喜んだり、葦の葉の草笛・藁縄ない・竹馬・クローバーの花のネックレスや冠り作りは子ども達が夢中になってしまいます。又、しそジュースやアラレは子ども達に人気、こんな事で喜んでくれる都会の子も達

が自然に触れ合い、喜んで帰ることが出来、又立科町に再び遊びに来てくれる事を願い楽しんで頂けるようにと思っています。又、中国や台湾の子ども達は日本語や英語の堪能な子が多いような気がして驚いています、外国から来る人々に、日本の文化、日本食に少しでも触れあえることが出来れば幸いかと思います、再び日本が好きになり来日されますよう願っています。

最後にほっとステイは私自身がリフレッシュや勇気づけられる源とも思えます。自身の体がほっとステイについて行かれる限り続けたいと思っています。子ども達は僅か6〜7時間のふれあいですが、お別れする時にお互いに涙が出そう、一瞬沈黙の時間と「シュント」となる様な、そんな関係が出来る一日の出会いになれるよう頑張ります。



村田さんと一緒に、巻き寿司に挑戦しました

公民館の利用について

公民館は、社会教育施設です。

社会教育（学習・文化・スポーツ・健康づくり・福祉・地域づくり）を目的とした活動を行う、住民による自主的なグループが公民館施設を利用することができます。

営利事業、政治活動、宗教活動は、法に基づき施設を利用することができません。

グループ活動を始めたり、学習会等を行うために会場を借りたい方は、お気軽に公民館までご相談ください。

電話 56-2311 有線 4000